

当たり年間400円を現行の個人税に上乗せする決断を市長がなされたことです。これは政治家として腹をくくらんとできんことで、よくやりはったなと思います。

久元 超過課税*を前提にしました。認知症の経費は3億円というかなりの高額な予算が必要となりますが、市の財政にそれほどの余裕はありません。これを既存の財源で賄おうとすれば、ほかの財源にしわ寄せがいきますし、財政のツケを次の世代に回すようなことはできません。とはいえ増税ですから、税金を引き上げる条例案を出す前に市民にアンケート調査を行いました。その結果、反対はありましたが、許容していただける範囲の反対であると判断することができましたので、決断しました。

ナミねえ 市民が許容できたのはなぜだとお考えですか。

久元 認知症が誰でもなり得る病気であること、それと検討経過の情報を公開していたので、市民の役に立つ使い方であると理解していただけたのではないのでしょうか。

ナミねえ 財源が足りなくなったら、次どうしますか。私は値上げも含めて市民均等割を貰ってほしいと思っているんやけど。

久元 神戸モデルは3年という期間を設定しています。期限が来たら、改めて市民の判断を仰ぐこととなります。税金に関しては、市長に決定する権限はなく、市民の代表である市議会が決めます。つまり、市民の皆さんが神戸モデルをどう評価されるかということです。

ナミねえ 認知機能検診の申し込みが3月19日時点で6,039件だと聞きました。当初予定していた1年で6,000件を2カ月足らずで突破したそうで、すごいことやと思います。市民は待ってたんや、という感じですか。

久元 神戸モデルが広く認知されていることはうれしく思います。認知症診断を、認知機能検診の受診を第1段階として、認知症の疑いがある場合は認知機能精密検査を受ける(第2段階)という2段階方式にし、65歳以上を対象に自己負担金ゼロで受診できることが良かったのかもかもしれません。

ナミねえ 神戸モデルで認知症文化が変わったと思います。認知症に対する考え方や、人のアプローチが変わって、隠すもんから、誰でもなり得る病気だからみんなで支えようという、コベルニクスの転回ですよ、これは。パンフレットに難しい専門用語が入ってないのもいいし、賠償責任保険最高2億円まで、見舞金最高3,000万円と金額がはっきり示されているのもいい。

久元 法的損害賠償金を家族に負わせるのは酷です。みんなで負担し合うことが必要だと思っはいましたが、見舞金と損害賠償金の2本建てを具体的に提案したのは検討部です。法的損害賠償責任がなくても負担は大きいので、見舞金は必要であると判断し、専門家と議論を重ねて金額を設定しました。

保険の方式についても非常に議論があったところです。損害賠償保険に任意で加入している市民の保険料を負担する自治体はいくつかありますが、これだと任意加入者だけが対象になります。われわれは全市民を対象に考えていましたので、神戸市が一括して保険に加入することにしました。

手厚い行政サービスの実現に向けて

ナミねえ 神戸モデルをFacebookで紹介した時に、うちの自治体でもやってほしいとか、神戸市に引っ越したいとか、反響がものすごくあって、こういうものが求められてたんやなって痛感しました。約153万の市民がいる大都市で始めはったのはすごいことだし、国民に与えるインパクトの大きさはすごいもんやと思います。

久元 市民の皆さんに増税を認めていただいた以上は、行政の効率化、パフォーマンスの向上を改めてやっていかなければなりません。阪神・淡路大震災からの復旧・復興によって財政困難な時が続きました。財政危機は乗り越えたものの、正直なところ、低下した行政サービスも一部あります。行政改革は本来、行政サービスを維持、改善しながら進めていくものです。そのために進化したテクノロジーを活用したいと考えています。例えば、マイナンバー

やICT、AI、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などの要素を取り入れながら、コンビニなどの提携サービスを行うことで業務の省力化・効率化を図り、効率化によって手の空いた職員をほかのサービスに振り分けます。そうすることで、より手厚いサービスが提供できます。

ナミねえ ブロップ・ステーションは30年前から情報通信技術(ICT)を使って障害者を納税者にする支援活動をやっています。久元市長になられて、平成29(2017)年10月にICTを活用した在宅就労支援に特化した「しごとサポートNCT」を開設してくれはったことは、大きな変化でした。

最後に、神戸モデルを参考にしたい自治体に考えてほしいポイントを教えてください。

久元 参考にしていただくことは神戸市にとって名誉なことだと思います。しかし、この認知症問題は日本が抱える課題であり、本来は国がやるべきことです。神戸モデルを参考に全国民を対象としたモデルを、ぜひ国につくっていただきたい。その上で神戸モデルが国のモデルに吸収されることは厭いません。

ナミねえ 本日はお忙しい中、ありがとうございました。市長の話聞いて、改めて神戸市民で良かったなと思いました。



竹中ナミ氏